

103-33

問題文

セロトニン5-HT_{1A} 受容体を選択的に刺激することで抗不安作用を示すのはどれか。1つ選べ。

1. ジアゼパム
2. スマトリプタン
3. タンドスピロン
4. スピペロン
5. オキサゾラム

解答

3

解説

選択肢 1,5 ですが

ジアゼパム 及び オキサゾラムは、Bz 系抗不安薬です。GABA_A 受容体機能を亢進し、GABA 作用を増強することで抗不安作用を示します。セロトニン受容体刺激ではありません。よって、選択肢 1,5 は誤りです。

選択肢 2 ですが

スマトリプタンは 5-HT_{1B/1D} 刺激薬です。片頭痛緩和に用いられます。5-HT_{1A} 刺激薬ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

スピペロンは、D₂ 遮断薬です。統合失調症治療薬の原型である クロルプロマジンの改良薬というイメージです。セロトニン受容体刺激ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

以上より、正解は 3 です。

類題

参考